

—生命地球科学の最前線—

主催

- ・ 広島大学理学研究科地球惑星システム学専攻
- ・ 海洋研究開発機構高知コア研究所
- ・ 広島大学附属理学融合教育研究センター

共催

- ・ プレート収束域の物質科学研究拠点

【日時】 2017年12月1日（金曜日） 13:00～17:00

【場所】 広島大学東広島キャンパス図書館ライブラリーホール

【概要】 地球は生命の惑星である。特に微生物は、表層環境から地下深部まで存在し、地球の諸現象に多大な影響を与えている。本シンポジウムでは、地球科学・微生物学の融合を推進する研究者を招き、地下生命圏・難培養性微生物・断層挙動・鉱物資源・地球史などに関する研究の最前線にせまる。

【プログラム】

開会の挨拶：安東淳一（広島大学大学院 理学研究科 地球惑星システム学専攻長）

1. 13:05～13:35 星野辰彦（海洋研究開発機構・広島大学）
海底下深部生命圏のなりたちと生物多様性

2. 13:35～14:05 柳川勝紀（北九州市立大学）
メタンを喰らう—暗黒地下圏微生物の生き様—

～休憩（10分）～

3. 14:15～14:45 青井議輝（広島大学）
難培養性微生物とは何か？分離培養手法の革新で迫る

4. 14:45～15:15 濱田洋平（海洋研究開発機構）
バクテリアによる岩盤硬化技術と地震津波軽減の可能性

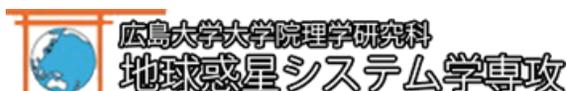
5. 15:15～15:45 白石史人（広島大学）
微生物と鉱物—マンガン団塊からカンブリア爆発まで—

～休憩（10分）～

6. 15:55～16:55 ポスター発表

閉会の挨拶：石川剛志（海洋研究開発機構高知コア研究所 所長）

入場は自由です。お気軽にご聴講ください。



問い合わせ先

広島大学
海洋研究開発機構

白石史人 (fshirai@hiroshima-u.ac.jp)
星野辰彦 (hoshinot@jamstec.go.jp)